

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中の部

令和三年度七月 入賞句一覧

投句数 千六百四十八句

特選



高木 恵理 選

さかあがりれんぞくできたなつのそら

大垣市

ふくた りくと(小二)

さかあがりができるようになったときのうれしき。そして、連続でできるようになった大きな喜び。作者の自信に満ちた顔さえも浮かんできます。鉄棒でぐるりと回ったときのダイナミックな動き。夏の青空。入道雲まで見えてきます。いかにも気持ちよさそうです。きつと何度も練習をしてきたからでしょうね。作者のこれまでの努力に金メダルです。

サングラスいつもとちがうパパのかお

大垣市

近藤 結恵華(小二)

いつも部屋で一緒に過ごしている身近なパパはサングラスをかけていませんよね。ところが太陽の日差しが強くなる夏、お出かけにはサングラスが欠かせなくなるのでしよう。そんなパパを見て、作者は「かつこいいな」と思ったのでしようか。それとも、「いつものパパの方がいいな」と思ったのでしようか。中七の言葉が想像をかきたてる俳句です。

田植の日ばく手伝うよおばあちゃん

大垣市

河本 瑛誠(小六)

孫にこんなことを言われたら、おばあちゃんはどうなにか嬉しいことでしょうか。毎年おそらくおばあちゃんだけでなく、家族みんなで田植をしているに違いありません。お米をつくることは大変です。しかし、きつと秋にはおいしいお米が収穫できることでしよう。一生懸命に働く三世代の姿が浮かんでくる俳句です。

秀逸

あじさいが雨もいよいよと笑ってる

加茂郡川辺町

藤井 俊輔(中二)

つゆはれま青空高く手をのぼし

大垣市

山田 笑里(小六)

なつのあさろくじにおきてたいそうだ

大垣市

大野 愛斗(小三)

きをつけて車が来たよかえるくん

大垣市

小松 大和(小四)

水そうでえさみてワープメダカさん

大垣市

栗田 晴(小五)

青色のユニフォーム着て光る汗

大垣市

松岡 大治(小六)

スパイクをさらにみがいて炎天下

大垣市

清水 敦生(小六)

君の声よく聞こえずに大花火

大垣市

中川 絢稀(小六)

ラケットを大きくふって虹が出る

大垣市

三日月 杏奈(小六)

八分間コートかけぬけあせ光る

大垣市

仙石 柑奈(小六)

入選

サイダーはコップのなかでとびはねる

大垣市

いまい ゆうせい(小二)

弁解の口をまつ赤にかき氷

埼玉県志木市

宮崎 優風(小五)

あじさいが色あざやかに道作る

大垣市

野川 裕介(小六)

たいようがきらきらひかるなつやすみ

大垣市

山本 花音(小三)

たんざくがゆれたらゆめがかなうかな

大垣市

松村 陽菜(小四)

運んでるアリのせなかにビスケット

大垣市

吉田 悠菜(小五)

太陽もきらきら応援すいかわり

大垣市

早野 莉央(小五)

いつのまにこんなところに蚊にさされ

大垣市

福井 結心(小五)

ながればしねがいはひとつホームラン

大垣市

大西 ま羽(小二)

カエルさんはつばのかさであまやどり

大垣市

とみた まお(小二)

おひさまとあいさつしているひまわりだ

大垣市

渡部 心結(小二)

えんがわでスイカのたねをとぼしっこ

大垣市

のだ えな(小二)

木の幹にせみのぬけがらがつちりと

大垣市

河合 皓生(小六)

ボール打つ夏の日浴びてホームラン

大垣市

林 大翔(小六)

耳もとに羽音聞こえる夏の夜

大垣市

竹下 裕菜(小六)

原爆をもう使わないとちかう夏

大垣市

淵 徳玖(小六)

オクラはねほんとはぼくがそだててる

大垣市

おか田 かん太(小二)

おかあさんビールをのんでまつかつか

大垣市

高橋 有為子(小五)

父の日に切り絵アサガオプレゼント

大垣市

栗田 せな(小五)

ひまわりが太陽目指しのびていく

大垣市

不破 寧音(小六)

選者吟

来し方に光残してかたつむり

恵理



小中の部